



奈良県感染症情報

令和4年第10週(3月7日～3月13日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.00	(2.41)	↘	↓	↘	↘
2	RSウイルス感染症	0.21	(0.09)	↑	↓	↗	↑↑
3	突発性発しん	0.15	(0.18)	↘	↓	→	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.12	(0.12)	↑	↓	↑↑	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.03	(0.03)	↘	↓	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第10週の新型コロナウイルス新規感染者数は5212名と、引き続き高い水準で推移しています。昨年の年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携のもとに新型コロナウイルス感染症対策を推進していきます。引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を堅持」するとともに、「3回目のワクチン接種を迅速に進める」ことにより、感染の拡大に対処します。県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくようお願いいたします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

ここ1か月で、発熱のためコロナウイルスPCR検査を実施した例の80%が陽性であった。園児や学童が罹患し、家庭内で感染が広がる例が多い。子どもたちは軽症で経過しているようです。胃腸炎以外は無く、今年はRSは見えていない

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

学童、学校、家庭内でCovid19例に接触ありの疑い濃厚例が増加している。感染性腸炎は減少した。他の登録疾患はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている。小児ではほとんどが軽症例で、入院を要することはほとんどない。家庭での感染は高確率で、保育所・学校で濃厚接触者に相当しなくても感染例が多数みられている。胃腸炎は減少、インフルエンザの流行もない。アデノウイルス感染やRSウイルス感染が散見されている。

新型コロナウイルス感染症対策

消毒や除菌効果をうたう商品は、**目的に合ったものを、正しく選びましょう。**

▶ **チェックポイント**
 ☑使用方法 ☑有効成分 ☑濃度 ☑使用期限
 ※商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① **手指のウイルス対策**
 こまめな手洗い
 を心がけましょう。
 石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒液等を使用する必要はありません。

② **物品のウイルス対策**
 テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。
 塩素系漂白剤の正しい使い方はこちらから！
 塩素系漂白剤の正しい使い方はこちらから！

③ **空間のウイルス対策**
 定期的に換気してください。
 注) まわりにいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。

新型コロナウイルス対策ポスター「新型コロナウイルス感染症対策 消毒や除菌効果を謳う商品は、目的に合ったものを、正しく選びましょう。」
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_system_20200626_01.pdf

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 10 週 3 月 7 日 ~ 13 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	0	6	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	0	3	
RSウイルス感染症	7 (0.21)				6 (1.00)		1 (0.33)	
咽頭結膜熱	4 (0.12)				4 (0.67)			
A群溶連菌咽頭炎	1 (0.03)				1 (0.17)			
感染性胃腸炎	68 (2.00)	11 (1.22)	19 (2.11)	11 (1.57)	25 (4.17)		2 (0.67)	
水痘	1 (0.03)		1 (0.11)					
手足口病	1 (0.03)		1 (0.11)					
伝染性紅斑								
突発性発しん	5 (0.15)	1 (0.11)		1 (0.14)	2 (0.33)		1 (0.33)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市3、中和1、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 水痘(入院例)1件(中和1)

❖ 第10週のトピックス ❖

◆国立感染症研究所HP:SARS-CoV-2 オミクロン株感染による新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査(第6報):ウイルス学的・血清学的特徴
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-ids/11017-covid19-76.html>

◆国立感染症研究所HP:経鼻ワクチン誘導CD8陽性T細胞反応の中和抗体非依存的な新型コロナウイルス感染制御効果
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/vaccine-research/11019-vaccine-2022-02.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																						
RSウイルス感染症	男女		2	4		1																2	23
咽頭結膜熱	男女			1	1	1																3	27
A群溶連菌咽頭炎	男女			1									1									1	46
感染性胃腸炎	男女	1	2	4	7	6	1	6	2			2	4		4							39	849
水痘	男女	1	4	2	2	4	1	1	3	1	2	1		1								1	3
手足口病	男女			1																		1	27
伝染性紅斑	男女																						1
突発性発しん	男女			2				1														2	35
ヘルパンギーナ	男女																						4
流行性耳下腺炎	男女								1													1	3
急性出血性結膜炎	男女																						2
流行性角結膜炎	男女						1		1														9
細菌性髄膜炎	男女																						1
無菌性髄膜炎	男女																						
マイコプラズマ肺炎	男女																						
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

